

登戸研究所とは？ 2

風船爆弾作成風景



「日本高等拓殖学校」とは？

- 1930年(昭和5年)4月、熊本県出身の衆議院議員 上塚 司(元南満州鉄道社員)は、**アマゾン開拓の中堅の指導者育成のために、東京の国士館内に1年課程の国士館高等拓殖学校(高拓)を設立した。**
- 翌1931年(昭和6年)4月には、第1回生47人(引率者2人を含む。)が、**横浜港から「さんとす丸」に乗り込み、アマゾンに向けて出発し、6月にヴィラ・アマゾニア(ブラジル アマゾナス州パリンチンス市)に到着し、実習練習所での1年間の実習を開始した。**
- ※ **第1回高拓生の入植から75周年の節目に当たる2006年には、現地に「ヴィラ・アマゾニア農業学校ツカサ・ウエツカ」が開校された。**
- 1932年(昭和7年)6月、上塚氏は、軍部の満洲進出に同調する**国士館と袂を分かち、「日本高等拓殖学校」と改称し、校舎を神奈川県の登戸(現 生田キャンパス)に移した。日本高等拓殖学校は、その後、1937年(昭和12年)卒業の7回生までを送り出した。**

日本高等拓殖学校校舎(現 生田キャンパス)

(国立国会図書館ブラジル移民の100年HPより)



校舎前に植栽されたヒマラヤ杉(樹齢約86年)は現在も健在

生田キャンパスの変遷 1954年(昭和29年)



この頃は、まだ第二校舎エリアには建物は少なく、現A館の所在場所は「畑」だった。

生田キャンパスの変遷 1968年(昭和43年)



この頃は、現在の「東グラウンド」は、まだ水田の状態であった。

生田キャンパスの変遷 2012年(平成24年)



明治農業専門学校の設立 1

- 1941年（昭和16年）4月、千葉蒼田用地を購入
- 農学部の前身である「明治農業専門学校」は、戦後の食糧問題が緊迫する中、農業科学技術者の養成を目的として、1946年（昭和21年）6月、千葉県千葉郡蒼田村（旧蒼田用地 約75,000余坪）に「農科」「畜産科」「農業土木科」の3科開設。（文部省からは、校舎施設や専任教職員の不足の改善、水田、牧場・飼料圃、土木実習地等施設の拡張などの厳しい条件付きで認可）※2017年度に用地売却済
- 常に学生定員を超過した状態が続いていたが、蒼田での施設拡充は進展せず、1948年（昭和23年）9月、駿河台キャンパスに移転が図られた。（状況は好転せず。）

明治農業専門学校の設立 2



明治農業専門学校入口 菅田 1947年(昭和22年)

東京明治工業専門学校の設立

- 太平洋戦争が激化する1944年（昭和19年）5月29日に、工学部の前身である「東京明治工業専門学校」が、「広大な大東亜諸地域における日本の指導的立場を確保し、大東亜建設を完遂するため」という目的で、「機械科」「電気科」「造船科」の3学科を神田駿河台キャンパスに開設された。（極めて軍事色の強い中でのスタート）
- 名称については、「明治大学工業専門学校」として設置認可申請したが、認可時に「東京明治工業専門学校」と改称された。

（1909年開校の明治専門学校（1921年官立に移管）
＜現 国立大学法人九州工業大学（北九州市）＞に対する配慮と言われている。

新制明治大学の発足 1

- 学校教育法 (昭和22年3月31日法律第26号) による
「新制明治大学」の発足
 - 1 認可申請 1948年 (昭和23年) 7月30日
 - 2 設置認可 1949年 (昭和24年) 2月21日
 - 3 開設時期 1949年 (昭和24年) 4月
 - 4 学部学科 農学部を除く5学部、二部 (夜間部) 設置
 - (1) 法学部 (2) 商学部 (商学科・産業経営学科)
 - (3) 政治経済学部 (政治学科・経済学科)
 - (4) 文学部 (文学科・史学科)
 - (5) 工学部 (電気学科・建築学科・機械学科)
 - (6) 農学部 (農学科・農業経済学科)

※ (4) ~ (6) は、専門部・専門学校から学部に昇格